

ガイド MAP 演劇スペース情報

コメント付き！
各スペースの
特色ポイントは
☑️のアイコンをみてね！

A: 心斎橋エリア

① -IST 零番館

▶ プロデュース企画も毎回行きたい！！
2008年10月休館

② ウィングフィールド

▶ 関西小劇場界の名プロデューサー故中島陸郎氏のDNAを受け継ぐ歴史あるスペース
大阪市中央区東心斎橋 2-1-27 周防町ウイングス 6F
TEL: 06-6211-8427

B: 森ノ宮・大阪城公園エリア

③ ドーンセンター (大阪府立女性総合センター)

▶ 女性芸術劇場、パフォーマンススペースも貸出し可
大阪市中央区大手前 1-3-49 TEL: 06-6910-8500

④ ウルトラマーケット

▶ OMS、近鉄劇場など…次々に閉館する大阪小劇場を懸念してたちあげられた倉庫改造型演劇スペース
大阪市中央区大阪城 3-1 大阪城ホール内西倉庫
連絡先: 劇団 南河内万歳一座
大阪市城東区蒲生 2-9-5 城東マンション 2A
TEL: 06-6935-0332

⑤ 森ノ宮プラネットステーション

▶ 公演はもちろん、稽古場、レコーディングスペースとしてもお安く借りられます！(2009年3月閉館)
大阪市中央区森ノ宮中央 2-13-33 大阪府立青少年会館
TEL: 06-6942-2441

C: 中津エリア

⑥ ピエロハーバー

▶ カフェ営業もしている、高架下にある芸術村
大阪市北区中津 6-1-10
TEL: 06-6451-7780 (ピエロハーバー直通)

D: 梅田エリア

⑦ HEP HALL

▶ 梅田のショッピングエリア HEP ファイブの8階アクセスのよさピカイチ☆
大阪市北区角田町 5-15 HEP FIVE 8F TEL: 06-6366-3636

E: 千林大宮エリア

⑧ 大阪市立芸術創造館

▶ パフォーマンスのインキュベーションセンター(孵化施設)
大阪市旭区中宮 1-11-14 TEL: 06-6955-1066

⑨ アトリエ S-space

▶ プロデューサーが実家の倉庫を改装ネットでもなづちも売ってるよ、炊き出し・宿泊も可
大阪市城東区成育 2-5-4 TEL: 06-6934-0014

F: 吹田市エリア

⑩ シアターぶらっつ江坂

▶ 主に劇団ひまわりの活動で使われること多し
大阪府吹田市江坂町 1-18-2 TEL: 06-6369-2202



G: なんば・日本橋・天王寺エリア

⑪ 精華小劇場

▶ 元小学校のノスタルジック空間
大阪市中央区難波 3-2-4 TEL: 06-6643-7692

⑫ [in→dependent theatre 1st.2nd]

▶ 日本橋電気屋街で「世界を挑発するトガッた」劇場
12-1 [in→dependent theatre 1st] 60~100席
大阪市浪速区日本橋 5-12-4 ジャンブル本店 1F
12-2 [in→dependent theatre 2nd] 150~200席
大阪市浪速区 4-7-22
TEL: 06-6635-1777

⑬ 應典院

▶ お寺に劇場!! 寺子屋は昔はこうであった
大阪市天王寺区下寺町 1-1-27 應典院寺町倶楽部
TEL: 06-6771-7641

⑭ 一心寺シアター倶楽

▶ お寺に劇場!! 金キラの三千仏像の地下舞台
大阪市天王寺区逢坂 2-6-13 一心寺シアター倶楽
TEL: 06-6774-4002

⑮ ロクソドンタブラック

▶ 客席数は約 80 席。天王寺のドン！ロクソドンタフェスも毎年要注目！
1F: ロクソドンタブラック
2F: THE KIO COMPANY 事務所
3F: ロクソドンタブラック楽屋
大阪市阿倍野区阿倍野筋 2-4-45 TEL: 06-6629-1118

⑯ STAGE +PLUS

▶ 阿倍野近鉄の裏に新しくできた劇場 Bar 雑新派しこみの建物も必見！
大阪市阿倍野区松崎町 2-3-5 TEL: 06-6621-3947

H: 北加賀屋エリア

⑰ Black Chamber

▶ 造船所跡地、夕陽が心にしみる港町、野外ステージが特によいです
大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55 名村造船所跡地
TEL: 06-4702-7085

I: 伊丹市エリア

⑱ AI・HALL (伊丹市立演劇ホール)

▶ 現代演劇の国際的な窓口、ダンスプログラムも充実
兵庫県伊丹市伊丹 2-4-1 TEL: 072-782-2000

J: 天満エリア

⑲ 音太小屋

▶ 靴をぬいで階段を上がるほっこり系劇場
大阪市北区菅栄町 3-15 TEL: 06-6353-6985



これまでの大阪演劇人をたどってみよう

今回は、大阪で個性的な小演劇プログラムを上映している劇場と、大阪を拠点とされている(されていた)名演出家、名プロデューサーをご紹介します。役者さん、演劇大好き人、これから実験演劇を見てみたい人が集まって、注目演劇祭にもお話が広がりました。

[大阪人 vol.59 (May 2005) 参照]

1990年代～ 新星劇団

大阪を拠点にした劇団がぞくぞく旗揚げ。OMS や近鉄劇場を稽古場として切磋琢磨した時代

1970年代～ 草分け時代

60年代アングラ演劇の潮流を受け、大阪でも演劇土壌が育まれた時代

1980年代 大阪芸術大学発!

関西演劇の人材供給源?! 「大芸」が排出した個性派演劇人が活躍した時代

松本 雄吉 (維新派)

1970年天王寺を拠点に維新派を結成。詩人の吉増剛造氏や浪花節の五七五に身体性を見だし、大阪弁の脚本と回転舞台などにこだわった野外演劇を構築。音楽監督には内橋和久氏を迎え、「芸能というものに漂う原初的な怖さ、いかにわしき、うしろめたさをいまだに抱えて現代風になっていく」独自のスタイルを確立。

中島 陸郎 (関西小劇場界の名プロデューサー)

1978年梅田の阪急ファイブの8階の多目的ホール(現HEP HALL)に小劇場「オレンジルーム」を創設。82年にはオレンジ演劇祭を開始し、劇団☆新幹線、南河内万歳一座、そとばこまちなど関西の学生演劇の発掘に貢献。「ウィングフィールド」も創設。

わかぎあふ (リリパトアミーII)

1986年中島らも氏とともにエンターテイメント系劇団リリパトアミーを結成。当時のメンバーには桂吉朝、松尾貴史。その後、ユニット「ラックシステム」を結成し、大阪弁にこだわりの、古典との融合の中で「和芝居」という方向性。落語がそのままお芝居になったような世界観。

内藤 裕敬 (南河内万歳一座)

1980年大阪芸術大学舞台芸術学科の学生で南河内万歳一座を結成。今はなき「扇町ミュージアムスクエア (以下 OMS*)」に稽古場を構える。相次ぐ関西小劇場の閉館を危惧して、2004年に大阪城ホール内倉庫を改造して「ウルトラマーケット」を創設。

いのうえ ひでのり (劇団☆新幹線)

1980年大阪芸術大学舞台芸術学科の学生で劇団☆新幹線結成。OMS に稽古場を構えた、全国的知名度を誇るエンターテイメント爆走系劇団。箕利夫、渡邊いついけ、古田新太、羽野アキなどが所属していた。

岩崎 正裕 (劇団φ太陽族)

1982年大阪芸術大学舞台芸術学科の同期生とともに劇団φ太陽族を結成。オウム心理教事件など社会的テーマを扱う劇団として注目をあびる。「ここからは遠い国」で第4回 OMS 戯曲大賞(*)受賞。



深津 篤史 (桃園会)

同志社大学を拠点とした学生劇団「第三劇場」などでの活動を経て、1992年に「桃園会」を旗揚げ。1998年に「うちやまつり」で第42回(2)岸田國士戯曲賞受賞。NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 (DIVE) の理事長として大阪の小劇場演劇の環境整備に声をあげている。



棚瀬 美幸 (南船北馬一団)

1996年、柴田隆弘、古谷兎一郎とともに南船北馬を結成。「現実感を持った時代におけるリアル」の追求をテーマに、エンターテイメント系の劇団が多い大阪小劇場界で異彩を放つ。「帰りたいうち」で第7回劇作家新人戯曲賞受賞。



後藤 ひろひと (遊気舎)

1970年代に旗揚げ、関西小劇場界の草分け的存在だった「上方小劇場」を前身とした「遊気舎」の第2代座長に90年から就任。「東のケラ (ケラリーノ・サンドロヴィッチ)、西の後藤」とよばれる。小演劇界初のフルオーケストラ生演奏を同時に使った異色な存在。



サカイヒロト (W'IRE)

後藤ひろと率いる「遊気舎」に大きく影響を受け、入団し脚本も手がける。97年に「バントアパート」を結成し、2000年に「W'IRE」に改名。2002年に OMS 戯曲大賞受賞。

まずは行って観てみよう! 関西の演劇フェスティバル情報

ロクソドンタフェスティバル*3

2003年から毎年1・2月～7・8月開催。会場: ロクソドンタブラック、芸術創造館 (ステップシアター)

野外演劇フェスティバル

1999年から9月～10月開催。会場: 扇町公園、難波宮跡地公園、名村造船所跡地、中之島公園など

大阪 Short Play Festival

2005年から毎年8月上旬開催。会場: 松下 IMP ホール

High School play Festival (HPF)

大阪高校演劇祭7月～8月開催。会場: 精華小劇場、ウィングフィールド、シアトリカル應典院

演劇めぐりの参考に! 戯曲賞・演劇賞の紹介

*1: OMS 戯曲賞 (扇町ミュージアムスクエア)

1985年大阪ガスの遊休施設内に劇場、映画館、レストランを備えた複合施設として扇町ミュージアムスクエア (OMS) が開館。3年間の暫定活用でありながらも盛況をよぶ。2003年に惜しまれながら閉館。OMS10周年にあたる1994年に関西発信の戯曲賞として OMS 戯曲賞が設立。

*2: 岸田國士戯曲賞

劇作家の岸田國士 (ちなみに岸田今日子の父。岸田森の叔父) の遺志を継承し、白水社が主催。若手劇作家の登竜門。演劇界の芥川賞。

*3: ロクソドンタフェスティバル

「演劇なのに、戯曲にしかな賞がないのはおかしいじゃないか!」という大疑問を原動力に2003年から開催。アマチュアからプロへの橋渡しとして天王寺にある小劇場「ロクソドンタブラック」が主催している。上位入賞団体には、もれなく年末に「芸術創造館」で行われる大阪セレクション (大阪市主催) への道が開かれる。



「大阪のアートを知り尽くすの会」とは、

大阪のアート事情を演劇・建築・音楽・美術などの領域ごとに分け、それぞれの歴史的・地理的情報を参加者とともにながら、地図を作っていくイベント。作成した地図はwebやアートスペースなどで配布します。

※web サイトにてバックナンバーあります。
<http://www.webarc.jp/>



現代芸術創造事業 築港ARC (アートリソースセンター by Outenin)

大阪市港区築港 2-8-24 pia NPO 308 Tel / Fax : 06-6308-5517

Mail : arc@outenin.com HP : <http://www.webarc.jp/>

主催 : 大阪市 企画運営 : 財団法人大阪城ホール・應典院寺町倶楽部